



12月6・7日 世羅小学校にて



12月2日 道の駅世羅にて



12月2日 マックスバリュ世羅店にて



10月7日 社協フェスタにて



赤い羽根共同募金にご協力いただき

ありがとうございます。

「『あの人』を支えたい。困った時はお互いさまだから。」
その小さな思いが集まったとき、意志あるお金は『あの人』を支えるための力になります。
募金をする人、活動をする人、支えられる人。みんな、赤い羽根でつながっています。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



〔広告〕

世羅町社協の
LINE公式
アカウント

社会福祉法人
世羅町社会福祉協議会

世羅町社協

@169wowht



世羅町に
司法書士事務所
オープン
しました!

令和6年4月1日より
相続登記義務化
が始まります。

相続登記 遺言
空き家問題 成年後見
でお困りの方ご相談ください!

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 相続登記・遺言
- 成年後見
- 借金の整理
- 会社の登記
- 簡易裁判所訴訟代理 など

司法書士
飯田 一生
広島司法書士会所属

司法書士法人
広島北部司法事務所 世羅事務所
〒722-1121 広島県世羅郡世羅町大字西上原456番地3 TEL 0847-22-4505 要予約

定休日
土日祝日

今までのありがとうございますを感謝を込めて。
ご家族に寄り添ったご葬儀を。

セレモニー・サービス
風の里

代表取締役 高橋 宜己

〒722-1122 広島県世羅郡世羅町大字小世良80番地1

24時間 電話 0847-25-5655
365日受付 FAX 0847-25-5677

新年のごあいさつ



世羅町社会福祉協議会

会長 久保 辰昭

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平素から世羅町社会福祉協議会の事業運営に對しまして格別のご理解と温かいご協力をいただきありがとうございます。

昨年は、第六次地域福祉活動計画を「支え合うみんなが主役の福祉の地域（まち）づくり」を基本理念としてスタートしました。

コロナ感染症も昨年の五月には五類に移行し、社会生活もコロナ以前に戻りつつある中、本会の活動も感染症対策を行いながら展開しております。

少子高齢化が今後益々進むなか、地域福祉の重要性が問われています。

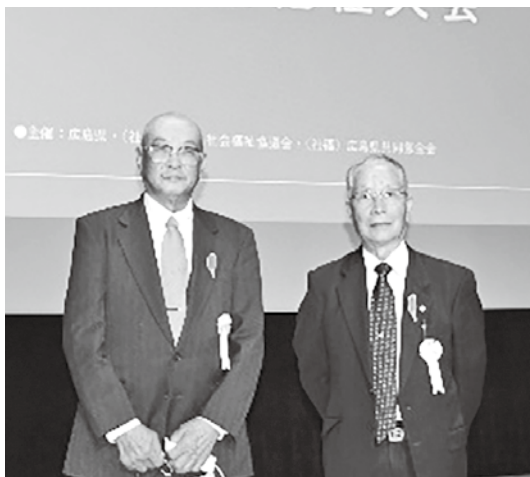
本会では、地域の皆様のご協力のもと「だれでもが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる」地域づくりを実現するため職員一同一丸となって取組んでいます。

終わりに、皆様のご健康とご多幸を祈念しご挨拶いたします。

広島県社会福祉協議会会長表彰

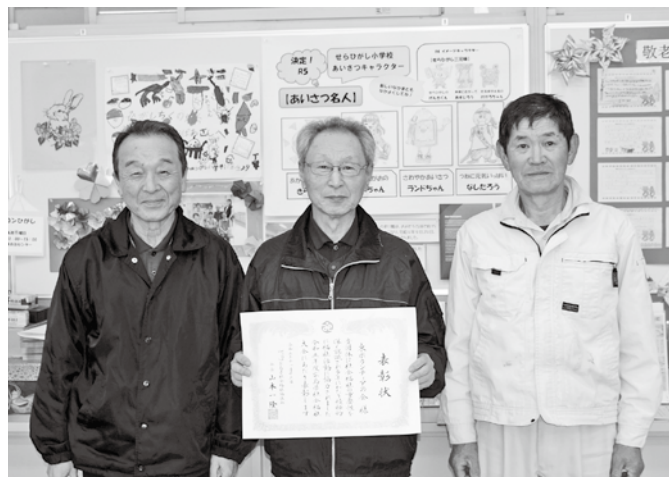
11月13日（月）、2023（令和5）年度広島県社会福祉大会がJMS アステールプラザにおいて開催されました。大会では多年にわたり地域の福祉活動に尽くし、貢献された方々に対する表彰式典と記念講演が行われました。

広島県社会福祉協議会会長表彰では、世羅町から「社会福祉協議会・団体関係者」として前原春夫様、「社会福祉事業援助者・団体」として新原信幸様、東ボランティアの会の方々が受賞されました。



新原信幸 様

前原春夫 様



東ボランティアの会 様

「権利擁護センターほっと」からのお知らせ

世羅町電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の申請書・年金事務所からの現況届提出の書類など、届いてもどうしたら良いかわからないからそのままにいませんか？

最近、詐欺等の不安もあって、書類や電話の対応でも「この手続きは必要なの？不安だ。」と悩むこともあるかもしれません。

一人では手続きやお金のことなどが、不安と感じる方のお手伝いをする「かけはし」というサービスがあります！

今後の生活に不安を感じたら、一度話を聞いてみませんか？



生活困窮者自立相談支援事業について

世羅町でもコロナ禍や自身の病気など、さまざまな原因により生活に困っている方（困窮されている方）が増えています。生活困窮者自立相談支援事業はそういった方に寄り添い支援をする事業です。

- ・自立相談事業…生活を立て直すために、より良くするためにはどうしたらいいのかを一緒に考えます。
- ・家計相談事業…お金の使い方について助言をし、利用できる制度やサービス、節約の仕方などの家計の改善方法を紹介します。
- ・就労支援事業…これからどのような仕事をするか、こういった働き方が考えられるかを提案し、支援します。

相談されたこと、個人情報等は守られます。
一度、相談してみませんか？

社協で相談を受けています！

まずは相談してみるだけ、話を聞いてみるだけでも大丈夫です。

担当職員がいないこともあるので、相談の予約をしていただくのがおすすめです(・v・)/



お問い合わせ先
世羅町社会福祉協議会
本 所 0847-22-3162
世羅西支所 0847-37-1335

地域あんしん活動 ～きずな～ コーナー vol.11

世羅町の生活支援コーディネーターの活動や取り組みを紹介します！

(地域によって、生活支援員・福祉支援員・地域福祉コーディネーターなど、呼び名が異なります。)

作って食べて
おしゃべりも楽しむ！

大見地区 「H2Mの会」



大見地区では、一人暮らしの方で集まって料理をして楽しむ、「H2Mの会」を月1回行っています。第8回目となる11月21日(火)は、初めて参加の方を含めて5名参加されました。

調理で使う野菜やお米は、みんなで持ち寄るので、時には予定していたメニューよりも、多くなっていくこともあります。

一人暮らしの方の外出の機会となる場を作れないだろうか、と考えて始めたこの会。みんなで集まって料理をすることで、新しい味付けを知ることができ、一緒に食事をすることで会話も弾みます。これからも季節を感じる食材とメニューで料理を楽しみつつ、楽しみながら続けていきたいとのことです。



情報交換、 勉強会など 生活支援員 井戸端会議



12月5日(火)に、生活支援員井戸端会議を行いました。この会は、世羅町の生活支援コーディネーターが集まり、情報交換や勉強会を行っている会です。今回は世羅町社協生活安心係による「かけはし、成年後見制度」についての勉強会を行いました。勉強会を終えて、「難しい内容だったが、知ることができてよかった」などの意見が出ました。

勉強会の後は、情報交換も行いました。「これってどうしよる～？」など、気兼ねなく話ができるのがこの会の良さです。今後も、情報交換や勉強会をしながら、活動につなげていきたいと考えています。



プラチナ大学 (世羅町校) 開催しました

地域づくりや支え合い活動などを学び、自分のできる範囲で自分らしく活動し、さらにさらに輝く未来に向けて、「プラチナ大学（世羅町校）」を開催しました。

このプラチナ大学は広島県社会福祉協議会が主催して全4回講座として開催し、町内外の様々な地域づくりの活動者からの説明や活動にかける想いを聞きました。

今回は第3回目講座、尾道市の常設サロン「めだかの学校」、オレンジカフェ「これから」の河岡定子さん、「津波や災害が起きたらどうしよう」について川口建三さんより、第4回目講座、世羅町のお互いさま活動「かろやかてごねっと」のかろやかさん（協力員）、松井三枝子さんと国原美吹さんより、お話しいただいた内容をご紹介します。

第3回目講座

常設サロン「めだかの学校」、オレンジカフェ「これから」の河岡定子さん、「津波や災害が起きたらどうしよう」川口建三さんより

常設サロンの起ち上げや、災害時に備えて精力的に活動をさせているお二人。「何かしようと思ったとき、同じ方向を向いている人が十人いればなんでもできる」とのこと。パワフルに活動するお二人が、続けていくコツは「楽しいことを提供したい人とのつながりを大切にしていくこと」とお話しされました。



第3回目講座は、尾道市向島町へ視察に行きました

第4回目講座

かろやかてごねっと活動を続けるコツ

かろやかさん（協力員）、松井三枝子さんと国原美吹さんより

世羅町内でのお互いさま活動「ごねっと」の活動をしているお二人より、続けていくコツや活動を通して感じたことをお聞きしました。てごねっとは、「自分のできることで無理なく活動できるので続けられる」「活動を通して、新しい人や新しい仕事内容に出会えるのが楽しい」とのことです。自分の体調や生活に合わせて「無理なく」活動していくことが大切であることもお話しいただきました。

全体を通して参加者から「実際に活動の内容を知ることができた。自分のできることから無理なく始めてみたい」「参加者の方とも交流ができ、つながりができた」などの声をいただきました。



かろやかさん（協力員）の
国原美吹さん、松井三枝子さん

災害時における

甲山ライオンズクラブとの 支援協定の締結について

世羅町社会福祉協議会は、世羅甲山ライオンズクラブと「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。

町内で大規模災害等が発生した時は、地域の被災された方の生活支援に向けて、ライオンズクラブの協力支援をいただくとともに、地域の皆さんや関係団体等の方々とともに、被災者サポートボランティアセンター活動の取り組みを行っていきます。



サロン活動紹介

津名
地区

「おばちゃんたちの上組サロンは、 ここで終わらせない」

上組サロン

この取材を通じて、「『私たちが手伝うけえ、おばちゃんたちのサロンは終わらせたらいいけんよ』と、まさか若い世代の人から聞けるなんて夢にも思わなかった」という言葉が強く印象に残っています。

昔から続く上組サロンでは、12名の参加者（コロナ前）から5名の参加者（コロナ後）に減少し、「長く続いたけど、もうサロンを辞めよう」と令和3年6月頃に当時のサロン代表者は考えていました。この悩んでいることを地域の集まりの際に、若い人へ相談したことがきっかけで、「おばちゃんたちがサロンをできるように、私たちが手伝う」と令和4年3月から4名の若い世代（50～60歳代）の方がサロンへ参加されるようになりました。

「このままサロンに参加していなかったら、顔を合わせて話すことは少なかつただろう」と話に出るほど、交流する機会はあまりありませんでした。今では、この場があることで活気が出て盛り上がるそうです。

今までサロンを守ってきた参加者と今からサロンを守っていく新しい若い世代の参加者が一つになって盛り上げている上組サロンのみなさんでした。



▲みんなで上組サロンを盛り上げるぞ～!!

担当者が
“ここがすごいと感じた”

ポイント!

!!”

高齢化やコロナの影響で、サロンの解散や参加者減少が進む中、地域の若い世代が加わることで、サロン活動が盛り上がっているところがすごい!!

サロンを通して私たちができること

先日、常設サロンを対象に「サロン世話人会」を開催し、世羅町福祉課と世羅町社会福祉協議会で「サロンを通して私たちができること」と題して、寸劇を行いました。みなさん自身がこれからも元気に過ごすことを目指して、どんなことができるのか、考えるきっかけになるような内容です。



今まで自分のことは何でもできていた「健康」な状態と、誰かの手助けが必要な「要介護状態」との間である「フレイル」。いつまでも元気に過ごしていくためには「フレイル予防」が大切です。

予防するため、「栄養」「運動」「社会参加（社会とのつながり）」の3つの大きな柱があります。

サロンへ参加することは、色々な人と出会いつながることや、自分でできることは自分でするなど、フレイル予防になります。できることをお互いでやっていき、協力してサロンを作っていただけると嬉しいです。

それぞれの地域に、常設、小地域サロンがたくさんあります。

「サロンに参加してみたい」、「どこにサロンがあるのか知りたい」、「サロンでこんなことがやってみたいけど、どうしたらいい?」など、サロンに関することは、社協までお問合せください。

家族介護教室

地域型支援センターさくらでは、要介護1～5の介護認定を受けられ介護をしておられるご家族のリフレッシュを目的として、月1回実施しています。

今回は9月、10月、11月の教室のご紹介をします。

9月 「フラワーアレンジメント」



木村誠子さんにプリザーブドフラワーを使った作品を教えていただきました。作品を竹ひごでつなぐことで作品をひとつとして見せることができるそうです。



10月 「ハンドクリームづくり」

本船薫さんにハンドクリームづくりを教えていただきました。いろんな種類のアロマを準備していただきました。使用する材料が全て自然から出来た植物で環境にも肌にも良い事を話されました。



11月 「マクラメサンタづくり」

行久智恵美さんにマクラメを使ったサンタづくりを教えていただきました。決まった長さにマクラメを切って編み込んだり、きつく結んだり細かい作業がありました。色とりどりのかわいらしいサンタさんが完成しました。



✽令和6年1月は創作活動、2月は草木染め、3月は口腔ケアについてを予定しています。
参加をご希望される方は、「地域型支援センターさくら」までご連絡をお願いします。

社会福祉法人 世羅町社会福祉協議会 地域型支援センターさくら

甲山・世羅地区 担当：泉・曾根 電話：0847-22-5147

世羅西地区 担当：増田 電話：0847-37-1335

開 催 報 告

9月30日(土)

笑い声が響き続けた「せらパラ2023」

せらにしタウンセンターを会場に、「世羅町障害者社会参加支援事業（せらパラ2023）」を開催しました。

第1部では、世羅高校生活福祉科のみなさんが考えたレクリエーションを行い、グループを通じて和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

第2部では、世羅町スポーツ推進委員の指導の下、ボッチャ体験会を行い、実際にプレーすることでボッチャの魅力やチームで協力して試合をする楽しさを体感することが出来ました。

(参加者112名)


10月7日(土)

令和5年度「せら社協フェスタ」

当日は天候にも恵まれ、とてもにぎやかに行われました。

子どもから大人まで、幅広い年代の方々にお越しいただき、来場者数はおよそ300名でした。

ご協力、ご来場いただいたみなさま、ありがとうございます。

また、社協フェスタ内で「令和5年度世羅町社会福祉協議会表彰式」が行われました。

町内において福祉活動に功績のあった個人及び団体等を社協フェスタ内で表彰させていただきました。



キッズコーナー（スーパーボールすくい）



展示コーナー

受賞者

(個人)

宇津戸地区	豊田 幸雄
小国地区	井上 真澄
小国地区	福永 洋子
黒川地区	山崎 正江
黒川地区	山下 久子
津名地区	平野 次子
津名地区	溝上 洋子

(団体)

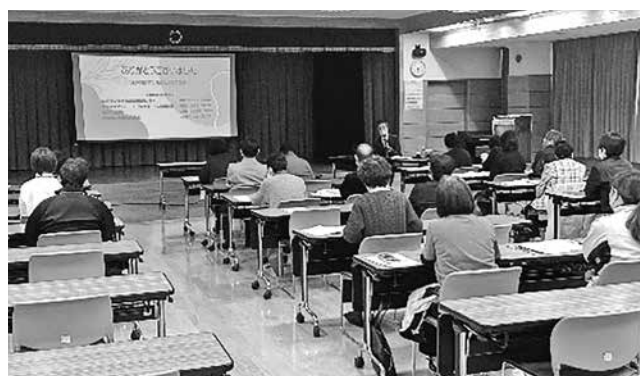
甲山地区	甲山愛楽サロン
中央地区	東上原幸友会
山福田地区	つばきサロン

※敬称略、順不同

11月17日(金)

「元気なうちに終活！」講演

広島司法書士会 司法書士の亀谷昌宏様を講師にお迎えし、終活と成年後見制度について、ご講演いただきました。終活について、「備えることの大切さ」について「自分で自分の意思を伝えることができる間に、自分の想いをエンディングノートや遺言書等に遺しておくことで、自分も安心できるし、残された家族のためにもなる」とお話をしてくださり、参加された方々もうなずきながらお話を聞かれていました。





かろやかてごねっとだより

活動報告

暮らしの中の、ちょっとした困りごとをお手伝いします！



風呂掃除

腰を痛めて動きが難しくなったAさんより風呂のカビが気になっているので掃除をしてほしいと頼まれました。

協力員Kさんに風呂掃除を頼みました。先日研修会で習ったようにカビ用の洗剤をつけ、カビの多い所はティッシュペーパーで湿布法をして少し置き、掃除するとカビはすっかり取れ、思った以上にきれいになりました。

Aさんは「てごねっとに頼んで良かった。またお願いします」と満足されました。

世羅高等学校生徒と一緒にてごねっと活動をしました！



協力員と一緒に窓拭きをしました

12月4日に世羅高等学校生活福祉科3年生7名の生徒に協力いただき、2名の利用者宅を訪問し、かろやかさん（協力員）と一緒に活動しました。

限られた時間の中で手際よく活動され、とてもきれいになりました。利用者は「高校生に優しくしてもらって嬉しい」と涙を浮かべて喜ばれました。高校生もお手伝いができて良かったとお互いに喜んでおられました。



家の周りの落ち葉の掃除

研修会の報告

てごねっと研修会を令和5年9月28日に開催しました。
(参加者21名)

情報交換会の様子



～情報交換会であがった意見の一部～

活動して良かった点は？

- ・少しの空き時間で活動でき、笑顔になって喜んでもらえた。
- ・色々な経験ができた。
- ・知り合いが増えたから。

なぜ活動を続けてこられた？

- ・短時間の活動だから。
- ・毎日でないから。
- ・人の役に立ちたいから。
- ・人との出会いがうれしい。
- ・新しい仕事ができることが楽しい。



「おそうじセミナー」の実演の様子

研修会:ダスキン株式会社による「おそうじセミナー」

お掃除の基本的な手順、洗剤の種類、掃除方法の研修を行いました。実演にトイレ掃除用洗剤の紹介が行われました。活動に役立つ研修で皆さん熱心にきかれ好評でした。

「みんなの生涯学習講座2023」に参加しませんか？

1回目

より美味しくなる「お茶講座」

どなたでも参加OK!!
初めて参加の方大歓迎!!

日時 2月24日(土) 10時～12時

場所 津久志自治センター

講師 TEA FACTORY GEN
高橋 玄機 さん



定員人数
20名(申込先着順)

参加条件
両方の講座に
参加できる方

2回目

ニュースポーツに挑戦「モルック講座」

日時 3月16日(土) 10時～12時

場所 つばき広場(せらにシタウンセンター近くの屋根付き広場)

講師 日本モルック協会 公認指導員
釣井 勇壮 さん



申込方法
電話でのお申し込み

申込期限
2月9日(金)
17時まで

※参加費は必要に応じていただきます。

申込
お問合せ

■世羅町社会福祉協議会 本 所 ☎(0847) 22-3162
■世羅町社会福祉協議会 世羅西支所 ☎(0847) 37-1335
受付時間 8:30～17:00(土・日・祝を除く)

献 血

のご協力ありがとうございました

11月24日(金)に、甲山農村環境改善センターと世羅保健福祉センターにおいて、400ml献血を実施しました。ご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

参加者：計70人(うち献血者：58人)

今後も世羅町献血推進協議会では、献血者の皆さまの善意に感謝し、大切な命を守るという使命を果たして参ります。

	午 前	午 後
場 所	甲山農村環境改善センター	世羅保健福祉センター
参加者	41人	29人
献血者	35人	23人
※体調や血圧などに問題があった方に対しては、健康面を配慮して献血をご遠慮していただいております。		

評議員の紹介

この度、評議員選任・解任委員会が開催され、新たに就任されました。任期は令和5年11月29日から令和7年6月の定時評議員会終結時までです。

(福祉団体) **就任** 升本 正明 **退任** 田坂 誠 (敬称略)



つぎの方々より、社会福祉協議会へのご寄附、フードバンク・物バンクへのご寄附をいただきました。地域のみなさまの福祉のために、大切に活用させていただきます。

今回は、令和五年九月〜令和五年十一月末までにご寄附いただいた方を掲載しています。

なお、まことに勝手ながら敬称ならびに、金額・物品の内容は省略させていただきますので、ご了承ください。(敬称略)

◎香典返し

東神崎 溝口 芳明 (故美知枝)	東神崎 寄重 輝美 (故崎真美)	東神崎 元泉 至道 (故幸子)	田打 平林 満穂 (故美智江)	山福 橋高 伸 (故精三)	本郷 前大道 潔 (故雅子)	東神崎 佐々木 操 (故吉郎)	赤神崎 松本 裕司 (故愛子)	東神崎 升本 昌彦 (故哲守)	宇津戸 石井 邦生 (故花江)	西神崎 松村 要治 (故緑)	石田 憲浩 (故二朗)	松尾 恒明 (故幸子)	上平 純子 (故マツエ)	栗根 一弘 (故初榮)	伏原 金男 (故美子)	藤井 正弘 (故ヒロ子)	木藤 弘子 (故富士登)	足立 靖子 (故萬治)	竹内 政彦 (故ツヨコ)
------------------	------------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------	--------------	-------------	--------------

◎その他

藤沢市 (株)小林商行
三原市 トラック野郎 輝心会
匿名 合計 八六五、五〇〇円

◎フードバンク

東洋羽毛株式会社
株式会社イズコン
匿名 2件

◎物バンク

匿名 4件

別迫 近藤 智后 (故美津子)	青水 竹田 智久江 (故一三)	重永 曾根 玉代 (故貢造)	西上原 國藤 賢治 (故三)	寺山 大串 幸夫 (故藤三)	甲斐 中島 道子 (故繁人)	出川 久保 昭浩 (故繁人)	黒川 石川 公人 (故城男)	小国 植永 修 (故スエゴ)	下津田 竹廣 和之 (故美代子)	上津田 近藤 邦子 (故江美子)	小国 城西 雄則 (故繁雄)	佐々木 厚司 (故ハルコ)	竹村 廣田 弘子 (故三)	黒川 掛 茂樹 (故治男)	黒川 森岡 和明 (故戒三)	下津田 信本 真紀 (故原敏昭)	黒川 安井 弘之 (故節子)
-----------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------	------------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	------------------	----------------

ご家庭で 食べきれない食料品 はありませんか？

フードバンク事業へご協力お願いします!!

フードバンクは、家庭で食べきれない食料品などをご寄附いただき、さまざまな理由により困窮され、食料品を必要としている方へ届ける活動です。今ある食料品を大切に、必要な方へ届けることで、「もったいない」から「ありがとう」へつなげる活動に取り組んでいます。

ご寄附
いただきたい
食料品

■麺類 ■保存食品 (缶詰・瓶詰等) ■インスタント、レトルト食品
■乾物 (のり・豆など) ■菓子類 ■飲料 (ジュース・コーヒー・お茶等)
■調味料・食用油 ■ギフトパック (お歳暮・お中元等) など

※未開封で賞味期限がおおむね2ヵ月以上あるもの ※常温保存が可能なもの ※生鮮食品は受付できません。



令和5年度 ふれあい相談所開設予定

月	日	曜日	重点相談	開設場所	開設時間	関係機関
1	24	水	相続なんでも相談(要予約)	社会福祉協議会本所	13時30分~17時	尾道公証役場
2	28	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会世羅西支所	10時~16時30分	弁護士法人リーガルジャパン
3	27	水	無料法律相談(要予約)	社会福祉協議会本所	10時~16時30分	弁護士法人リーガルジャパン

※お困りごとがある際は社会福祉協議会の職員が随時相談対応いたします。お気軽にお越しください。

【お問合せ先】

●本所 〒722-1121 世羅郡世羅町西上原426-3 世羅町社会福祉協議会本所 ☎0847-22-3162
●支所 〒722-1701 世羅郡世羅町小国3393 世羅町社会福祉協議会世羅西支所 ☎0847-37-1335



株式会社イズコン様より食料品のご寄附をいただきました。さまざまな原因で困窮され、食料品を必要とされている方へお届けするフードバンク事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

【広告】



印刷の原点を大切に、
新しい時代への進化を成します

シンセイアート株式会社

www.shinseiart.com E-mail: info@shinseiart.com

本社・工場 〒727-0004 広島県庄原市新庄町5088-58
TEL.0824-72-7890 FAX.0824-72-2128

三次営業所 〒728-0013 広島県三次市十日市東六丁目13-35
TEL.0824-62-3716 FAX.0824-62-5635



意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まり、12月からは赤い羽根共同募金の一環として、歳末たすけあい募金に取り組んでいます。

世羅町では、みなさまのあたたかいご協力により、令和4年度に5,360,733円の募金が寄せられ、令和5年度の取り組みとして、町内47のボランティア団体、福祉団体、学校などへ3,978,407円交付し、地域福祉活動の財源として活用させていただいています。



12月6日・7日、世羅小学校において児童会役員を中心に募金活動が行われました。登校してきた児童は、思い思いに家から持ってきたお金を募金箱に入れ、募金に協力をしてくださいました。

お互いさまの気持ちを育む活動の一環として、また、自分たちが通う学校の福祉活動をより良いものにしていくため、町内の小中学校・高等学校でも児童生徒が赤い羽根共同募金運動に取り組んでいます。

12月8日、宇津戸子ども会育成会のみなさんが「福祉のために活用してもらえたら」ということで、宇津戸文化祭で開催されたバザーの売上金の一部を、赤い羽根共同募金運動の募金として社会福祉協議会へ持ってきてくださいました。

いただいた募金は、地域福祉活動の大切な財源として、活用させていただきます。



ご存じですか？
赤い羽根
共同募金の
使いみち…

みなさまからいただいた共同募金を財源にした取り組みが、今日も世羅町のどこかで行われています。



赤い羽根データベース **はねっと**
<http://hanett.akaihane.or.jp>



赤い羽根携帯サイト**OPEN!**
<http://m.akaihane.or.jp>

つねとう音楽教室
オカリナコース募集スタート！
(ピアノ・リトミック・ドラム)

『楽しく上達、音楽を一生の友に！』
0歳～シニアの方までどなたでも

無料体験
レッスン
先着5名様
募集中！

世羅郡世羅町西上原382-4
(世羅警察署そば)
Tel.090-4575-6504
恒藤 真貴子

広告募集

世羅町社会福祉協議会では、広告掲載をして頂けるスポンサーを募集しています！
「せら社協だより」に広告を掲載しませんか。
掲載料は、一枠につき表紙8千円・中紙4千円・裏表紙6千円です。その他、封筒等の広告スポンサーも募集中です。

社会福祉法人 **世羅町社会福祉協議会**
お問い合わせ 本所 TEL(0847)22-3162
支所 TEL(0847)37-1335

編集後記

みなさん、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

今年も「笑顔で健康に！」を目標に1年頑張っていきます！

本所 福祉係 森政

